

|                          |                                                                                                                    |
|--------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>埼玉県木協だより<br/>第60号</p> | <p>発行日：令和2年1月1日</p> <p>発行責任者：（一社）埼玉県木材協会 会長 島崎 政敏</p> <p>編集責任者：                   "                   副会長 関根 進</p> |
|--------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## ○ 会長挨拶

明けましておめでとうございます。

皆様には日頃当会の運営にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。そして本年が皆様にとりまして実り多き年となることをお祈り申し上げます。

昨年を振り返りますと、多くの国民が祝意をもって受け止めた天皇践祚や台風19号による風水害など様々な事象がありましたが、私にはラグビーワールドカップでの日本チームの活躍が最も鮮烈な記憶となっております。欧州や南半球の伝統的な強豪国に対して少しも引けを取らない戦いぶりを目の当たりにして、しっかりと目標を定め努力を積み重ねることで不可能らしき事を可能にすることが出来る、世間の予想をはるかに超える大きな成果を得ることが出来るということを改めて知らされました。

また印象的なトライシーンや防御の場面で選手達の連携が見事に発揮されていましたが、私達日本人は古来社会の中で一揆・惣・会合衆などといったフラットなグループを形成して連携連帯することで強い圧力からわが身や仲間を守ってきました。これからの木材業界においてもこの「連携」が重要なキーワードになるように思えます。連携には幾通りもの形があるでしょうが、例えば林野庁の唱える「新たな木材流通システムの構築」にも該当するであろう川上から川下迄の連携グループなどはまさに町場の材木屋のイニシアチブによってこそ形成されるものではないでしょうか。

世界に目を向けると米国のトランプ大統領をはじめとする自国中心主義の風が地球上に吹き荒れているように感じられ、また身近な我々の商いの環境も年々難しさを増すばかりのように思えます。しかし止まない雨や嵐はありません、そして何事も始まりは小さな兆しのようなもの、今はかすかに感じられるフォローの風を遣り過ごすことなく捉え、連携によって互いに支え扶けあう共助の道を拓いていく、その為の応援が出来るそんな県木協にしていきたいと存じます。

本年も皆様にはご指導ご鞭撻を何卒宜しくお願い申し上げます。

## ○ 全国木材産業振興大会開催

令和元年11月6日、高知県高知市において、第54回全国木材産業振興大会が「次世代へつなぐウッドファースト社会を目指して」をスローガンとして開催されました。大会には、林野庁次長、高知県知事、高知市長、地元国会議員等の来賓をお招きし、総勢約600名が出席しました。議事では、都市部での木材利用に向けた取組、木材産業振興のための予算確保等を

盛り込んだ大会宣言を決議しました。その後、記念講演が行われた。表彰式では、坂東顧問に退任団体長感謝状が、志水前顧問に林野庁長官感謝状を、飯塚理事に全木協連会長賞が授与されました。

## ○ 外構部木質化事業が12月の閣議で令和元年度補正予算に計上

昨年春に実施した外構部木質化事業は、2ヶ月足らずで予算額に達するなど大変好評を博しました。12月の閣議決定では、令和元年度補正予算に計上されています。国会の承認が得られれば、3月ごろから募集が始まります。事業内容等は不明ですが、昨年、事業を受けられなかった事業者の方は、準備を始めたら如何でしょうか

## ○ 埼玉県木材協同組合の12mmの埼玉県産合板販売をはじめました。

埼玉県木材協同組合では、埼玉県産材の24mmに加え、12mmの販売を開始しました。1回当たり、1,000枚単位での販売です。どうぞ、ご利用ください。詳しくは、埼玉県木材協同組合までお問い合わせください。

## ○ 伐木作業等の安全対策の規制が変わりました。

令和元年8月1日から林業、土木工事業や造園工事業など、業務にかかわらず、チェーンソーを業務で使用する全ての業種が下肢の切創防止用保護衣の着用を義務付けられました。現行の特別教育修了者は、令和2年7月31日までに補講を受けることにより、継続することが出来ます。補講を受けないと、失効となりますのでご注意ください。詳しくは、埼玉県木材協会のホームページをご覧ください。

## ○ 行事予定

|    |       |     |                                 |                  |
|----|-------|-----|---------------------------------|------------------|
| 1月 | 8     | 水   | 県庁等新年あいさつまわり                    | 県庁関係各課ほか         |
|    | 16    | 木   | 知事と農林水産団体長との懇談会                 | 知事公館             |
|    | 31    | 金   | 県産木材まるごと見学バスツアー(埼玉県主催)          | 製材所、伐採見学、保育園     |
| 2月 | 3     | 月   | 全木連関東支部7県木連(協)会等団体長会議           | 茨城県水戸市           |
|    | 13    | 木   | 「新たな木材利用」事例発表会                  | 木材会館             |
| 3月 | 10    | 火   | 仮称「劣化・維持管理」講習会、さいたま県産木材認証事業体研修会 | 川口総合文化センターリリア 1階 |
|    | 19    | 木   | 第4回正副会長等会議                      | 林材会館             |
|    | 30~31 | 月・火 | 全木連、全木協連 理事会                    | 木材会館             |
| 4月 | 24    | 金   | 第1回正副会長等会議・理事会                  | 林材会館             |
| 5月 | 13    | 水   | 全木連、全木協連 理事会、通常総会               | メルパルク東京          |
|    | 14    | 木   | 政治連盟、全木検 通常総会                   | メルパルク東京          |
|    | 22    | 金   | 埼玉県木材協会通常総会・木材協同組合通常総会          | さいたま共済会館         |